

## スタッフ通信

タイトル 「 事業の運営を通して 」	就労支援 コーディネーターM	Vol. 228	令和5年度 5月
<p>昨年の4月にセンターに異動し1年が経ちました。福祉の現場で働くことが初めてで、あっという間に時間が過ぎていく毎日でした。</p> <p>異動したばかりの頃、上司に「毎日一行でもいいから、その日にあったことを日誌のようにつけていくと力になるよ」と言われ、張り切って始めたのですが数カ月で終わってしまいました。ただ、その数カ月間に自分が書いたものを見返すと「そうだ、この時に自分はこう思ったんだ」「支援の中でこの学びがあった」とハッとすることばかりでした。</p> <p>目まぐるしく過ぎていく日々の中で、自分を振り返るととても良いきっかけになるので、今年度はゆるりと継続したいです。</p> <p>昨年度は多くの事業運営に関わる機会がありました。例えば、福岡市内を中心とした大学や短大、専門学校に通う学生やその支援者を対象とした「スキルアップセミナー」「障がいのある学生への支援者連絡会」、企業で障がい者雇用に携わる方を対象とした「企業セミナー」などです。これらのセミナー等では参加者同士でのグループワークや意見交換の場を設けおり、今悩んでいる事や自分（の学校、企業）が取り組んでいる事など、参加されている方同士で様々な話をさせていただいています。</p> <p>それぞれ参加する方の立場やセミナー等の内容は違いますが、参加後に頂く感想の中には共通しているものがあります。それは「（意見交換やグループワークで）他の人の話を聞くと、悩んでいるのは自分（の学校、企業）だけではないと分かり安心した」というものです。</p> <p>私も、自分の悩みを友人に話した時「その気持ち分かるよ、一緒！」と共感してもらい、安心したり嬉しく思ったりした経験があります。</p> <p>明確な答えや解決策がなくても、お互いの考えや状況を知ったり悩みを共有したりすると気持ちが少し軽くなるのは立場が違って同じで、その機会を作ることもセンターの大切な役割のひとつだと気付きました。</p> <p>センターは今年度も様々なセミナーや研修会を開催します。 みなさんに「参加したい」「参加して良かった」と思ってもらえるように、職員一同準備して参りますので、今年度もどうぞよろしくお願いたします。</p>			

## スタッフ通信

タイトル 「移転しました！」	就労支援 コーディネーターS	Vol.229	令和5年7月
<p>令和5年7月1日、福岡市中央区舞鶴に新しくできた福岡市舞鶴庁舎に移転しました。舞鶴小中学校の隣の7階建ての庁舎には、1～4階に当センターと一緒に発達障がい者支援センター（ゆうゆうセンター）も移転し、中央障がい者フレンドホームが新設されています。潮の香りが漂っていた鮮魚市場会館とはまた違った雰囲気、新しい庁舎での支援が始まります。平成28年からお世話になった鮮魚市場会館の皆様へ感謝しつつ、職員一同心新たに努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>ところで、新庁舎ではアセスメント室が新設されました。アセスメント室とは、就労に関する模擬的な作業を行う部屋です。パソコンやデータ照合等の事務作業、ピッキングや品出しなどの作業系の業務など様々な作業を経験できます。就労支援の過程ではこのアセスメントの時間をしっかりと持つことが重要で、ご本人が自分のこれからの仕事に向き合うことができるようになっていかれます。</p> <p>私が担当している「企業・学生・支援者交流会」に参加された学生さんはこの夏休みを利用して職場体験実習・インターンシップを予定しています。センター内での作業アセスメントや企業での職場体験実習を通して、「仕事を知る」「自身の得意不得意を知る」「どのように工夫したらよいか、どのような配慮が必要かを知る」など、自分に合う働き方を知る機会になるよう支援したいと思っています。それまでの自分が描く就労のイメージとは違うこともあるようですが、新たな発見があり、やってみて「意外と得意かも…」と新しい方向性を探る機会になればと願っています。</p> <p>新庁舎ではアセスメントの充実を図り、一人ひとりが強みを活かし、やりがいを持って長く活躍できる仕事に出会えるよう、ご本人の進路選択に寄り添いこれからもサポートしてまいります。</p>			

## スタッフ通信

「事業所支援のご紹介 ～体験実習～」	就労支援 コーディネーターS	Vol.230	令和5年度 8月
<p>こんにちは！スタッフ通信をご覧いただきありがとうございます。</p> <p>厳しい残暑が続くなか、このところ身体に夏の疲れが溜まっていて、温泉やサウナでデトックスしたいなあと感じています。皆さんはどんな方法で疲れを解消していますか？</p> <p>さて、私は事業所支援部門を担当しており、市内の就労移行支援事業所や就労継続支援A型・B型事業所を利用している方の就労に関して、事業所と協働で支援を行っています。支援員の方からの相談対応や、研修会の案内などのために事業所を訪問しているのですが、今回はその中でご相談が多い体験実習についてご紹介します。</p> <p>ご相談を受けたら、まず対象の利用者や支援方針などについて聞き取るために事業所を訪問します。初めは求人情報など他の相談内容だったとしても、話を聞くなかでこちらから体験実習をご提案することもあります。</p> <p>訪問後の流れは、サポーター企業（実習や見学の受入れ協力企業）リストの中から、希望職種等の条件に近い企業を事業所にピックアップしていただき、センターから実習を依頼します。受入可能であれば事前見学と、事業所・企業・センター三者での打合せを行い、企業の都合や事業所の希望に応じて数日～10日間の実習を行います。</p> <p>事業所外での様子が見られる絶好の機会ですので、事業所の方には実習中の支援などをお願いし、実習終了までを一緒に支援を考えていきます。最終日には実習の気づきをまとめ、企業からご本人に対して就労に向けた助言などをしていただく振り返りをします。</p> <p>障がいについての理解や配慮をお願いして働く体験や、自分に合う環境や業務内容・量などを確認する機会となるため、就業経験が浅い方や、ブランクが長い方などにとっては、今後の就職活動の参考にしていただけるのと思います。</p> <p>就労継続支援A型やB型の方も、センターに登録いただいた上で同様の協働支援を実施しています。</p> <p>企業で働いてみたいと思っている障がいのある方にとって、この体験が就労を実現していくための一歩となるよう、センターにできることをこれからも模索し続けていきたいと思っています。</p>			

## スタッフ通信

「 企業を支援して 障がいのある人の 就労につなげます 」	就労支援相談員 I	Vol.231	令和5年度11月
<p>私は昨年度まで、ジョブコーチとして利用者の就職活動のサポートをしていましたが、今年度からは、企業に対しての障がい者雇用に関する相談・支援を行っています。</p> <p>先日、全国展開をしているあるショップの採用担当の方が、福岡市内に新たに出店するという事でセンターを訪問されました。ハローワークに求人を出して1ヶ月になるものの、店舗によっては1人の応募者もないと困惑されていました。求人票を見せてもらったところ、仕事内容の欄に、検品・商品補充等と一緒に「接客が発生することが有ります」、また特記事項の欄には「実技テストが有ります」と記載されていました。障がいのある方はコミュニケーションが苦手な方も多いこと、また「テスト」という言葉にハードルの高さを感じて敬遠されたのではないかと、こちらの考えを伝えました。早速、実際の職務から接客を外し、また「テスト」という言葉は「実習」に変え、改めて募集をされました。その後順調に応募があり、職場見学・職場体験実習と進んで実際の雇用につながりました。就職者本人も店舗スタッフもともに喜んでいて、元気に働いているということでした。</p> <p>現在私は就労支援相談員として個々の企業を訪問し、障がい者雇用の状況と企業としての考えをお聞きしていますが、近頃では、今後の雇用率アップ・除外率の引下げに関して危機感を持っているところが多いように感じています。そして、長期的な雇用計画が必要だと異口同音に話をされます。</p> <p>就労支援を続けていて、実はもどかしく感じる事があります。企業側は障がい者雇用に向けて受け入れ態勢を整え、様々な求人を多数出しています。しかし、就労を希望している障がいのある人も大勢いるのに、応募者が少なすぎるのです。就労場所が遠すぎるという物理的な原因の場合もあると思いますが、「自分にできるかな」というネガティブな理由もあるのではないかと考えています。</p> <p>もし興味があるのに、応募に際して迷っているようであれば、本人の可能性を信じて、職場体験実習だけでも、また職場見学だけでもと、私達支援者も少しだけ本人の背中を押すことも必要だと思えます。何かしらトライしてもらうことも、次へのきっかけが生まれるチャンスになると思うからです。ネガティブを「慎重である」とポジティブにとらえ、チャレンジ精神で自分の夢を目指す事を期待しています。</p> <p>これからも、働くことに意欲のある障がいのある人の多くが、本人の希望に沿った就職ができるよう、企業の開拓や、雇用に向けたサポートを続けたいと思っています。そして、本人・企業の双方が、就職して良かった、採用して良かったと思えるウインウインの関係が持てるように、企業と障がいのある人の架け橋になります。</p>			

## スタッフ通信

「新年を迎えて」	就労支援 コーディネーターA	Vol.232	令和6年1月
<p>新年あけましておめでとうございます。日頃よりセンターへのご理解、ご支援をいただきありがとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いします。</p> <p>私は、今年度4月から就労支援コーディネーターを担当しています。就労支援コーディネーターは、就労に関するご希望や障がいの状況をお聞きし、仕事の適性や今後の就職活動の方向性を一緒に考え、仕事探しのサポートをします。必要に応じて、企業見学や体験実習の提案・同行をすることもあります。</p> <p>実は、私は福祉の現場は初めてで、センターに配属になる前は、事務仕事をしていました。これまでとは異なる業務ですが、「障がいのある方がご自身に合った仕事で安心して働ける」ように、利用者の方と一緒に頑張っています。もちろん中には、就職になかなか結び付かないケースがあり、障がい者就労の難しさを感じることもあります。ですがその分、ご本人の頑張りが実を結び、就職につながった時は、嬉しさとやりがいと感じます。これからも障がいのある方の就労に向けて精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>さて話は変わりますが、今年4月は障がい者雇用の法定雇用率の引き上げが行われるなど、今後の障がい者雇用の拡充の動きが出てきています。こうした背景などを踏まえ、当センターではセミナーや研修会などを開催しています。</p> <p>今回は、令和6年1月17日（水）に開催する「第2回障がい者就労支援セミナー」を取り上げようと思います。「障がい者・健常者がともに共存共栄できる社会づくり」と題し、株式会社カムラック代表取締役の賀村 研様を講師にお招きします。長きにわたりITに特化した障がい者就労支援事業に取り組みされており、講演会等への登壇や書籍の出版、メディア掲載実績などをお持ちです。これまでの豊富な経験を踏まえてお話しいただく予定ですので、ご興味のある方は、センターのHPのお知らせからチラシをご確認ください。なお、令和6年1月10日（水）までお申し込みができます。皆様のご参加をお待ちしています。</p>			